

佐藤 生稔



市のシンクタンク

質問

地域間競争の時代を迎え、市役所は優秀な人材と財政力、情報力を生かしたシンクタンク機能の発揮が必要。職員の一層の自覚と奮起を願ってやまないが市長の指導力を伺う。

答弁 市長

職員を総動員し、「戦略的な政策・立案機能を持つべきである」と認識。

本格的なまちづくりの着手に合わせ、来年度から行政組織・機構の再編に取り組みます。

その中で、政策形成および事務調整機能の充実のため、市長室や管理室を新設し、今後の地域間競争の中で真に自立した自治体の構築を目指していきます。



市総合計画策定審議会

自主財源の確保策は

質問

財政は、「入りを量り、出るを制す」である。行革と同時に財源の確保策について伺う。

答弁 市長

自主財源の確保は、「行政改革」の「集中改革プラン」に基づき、収入の確保対策や組織機構の見直しによる適正な人員配置など総合的な対応を考えています。

具体的には、税務課の賦課・収納対策、建設課の住宅・上下水道使用料の収納対策強化として増員します。

また、各種使用料、手数料について受益者負担の原則により、全般的な見直しと低・未利用市有財産の売却処分や有料広告事業の導入なども検討します。

後藤 章子



周辺部対策

支所に権限を

質問

支所機能強化のために独自財源の保障と権限を！

答弁 市長

今年度、周辺部対策事業として、「ふるさとイキキキ事業」の予算を85000

行政における格差是正を！

質問

旧緒方町で実施している市町村設置型の合併処理浄化槽の設置は、15万円の加入金のみで設置しており、他の6町の個人設置型とは、住民の負担に大きな格差がある。早急な是正を！

答弁 市長

18年度中に検討委員会を設置し、対応について協議を行います。

※その他

障害者自立支援事業

消防行政

質問

「一市一消防本部体制」と消防行政のあり方について

答弁 消防長

組織は、一署三分署（緒方町・犬飼町・大野町）とし、消防職員定数を85名とします。

各分署の人員体制は、一分隊4名の三分隊。計12名の体制とします。

犬飼と大野の分署には、水槽付消防ポンプ車を配置します。

この体制で消防団と連携を図り、本市の消防の総合力を高めます。



ふるさと振興祭（道の駅あさじ）